

一般国道254号和光富士見バイパスの都市計画変更について

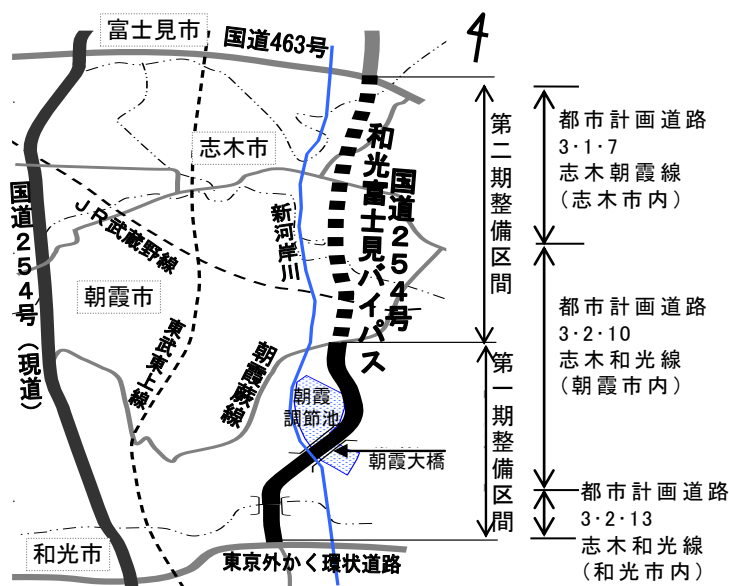
一般国道254号和光富士見バイパスを構成する都市計画道路3路線について、道路の基本構造を平面4車線とする都市計画の変更手続きを進めています。

1 バイパスの目的

- 県南西部の幹線道路網を強化し、国道254号(現道)の混雑緩和と交通安全の向上、並びに、地域の振興を図ります。

2 現在の都市計画決定事項

- 幅員 36～42m
- 構造 嵩上式及び地表式
【8車線相当】



3 都市計画の変更について

- 今後、道路の基本構造を平面4車線とする都市計画の変更手続きを行います。
- 変更手続きは、都市計画法の規定に基づき、住民の方々の意見を聞きながら進めます。

4 都市計画変更の検討経過

- 対象3路線は、昭和51年から昭和55年にかけて、8車線(高架4車線・平面4車線)を想定した道路として都市計画決定しており、昭和59年に事業着手しました。
- その後、社会・経済情勢の変化に伴い、各種調査(交通量推計、地質調査、環境予測)を行い、道路の基本構造を比較検討(平面・高架・地下)した結果、平成19年度に平面4車線の方針としています。

平面4車線の道路構造に伴う「沿道環境の保全」などの対策については、平成20年度に、志木市をモデルとして、市民が参加する環境緩衝帯整備検討協議会で検討を行い、副道、植樹帯、自転車道や歩道を適宜配置していく方針としています。



- 平成25年度に、将来交通量について、最新データを使い推計を行ったところ、1日当たり約39,600台となっています。

この推計交通量(約39,600台/日)に基づき環境への影響を検討したところ、大気質及び振動は基準値内となり、騒音は対策工(高さ1.0~1.5m)を実施することで基準値を満たす予測結果となっています。

- また、平成25年度に「都市計画道路の検証・見直し指針」を定め、県決定の都市計画道路を対象に一斉見直しを行った際には、和光富士見バイパスを構成する都市計画道路3路線について構造形式を変更する方向で見直しを進める路線としています。

